

鈴蘭学園 すずらん通信

Vol.54
令和5年
11月30日
発行

リニューアルオープン！

11月1日（水）鈴蘭学園は、リニューアルオープンしました。これもひとえに日頃より鈴蘭学園を応援してくださる皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。感謝でいっぱいです。今後ともスタッフ一同全力で励んでいきますので、更なるご協力の程よろしくお願ひします。

（中村 鳴美）



連携協議会企画会議

11月1日、神奈川県学校・フリースクール等連携協議会企画会議が県教育委員会で行われました。今回の議題は、不登校相談会の報告と次回の学校・フリースクール等連携協議会のテーマ「これからの学校」についてでした。私は、学校（先生方の考えや思い）が変わらなければ、事態に大きな変化は起こらないと考えています。これから先、学校が変わるまで永遠のテーマとなりそうです。

（中村 鳴美）

親の会

11月18日、今年2回目の親の会を開催しました。リニューアルした鈴蘭学園を見てもらいながらの開催で、17名の保護者方が参加してくださいました。本当は、広い会場で開催しようと思っていましたが、皆さんにリニューアルした鈴蘭学園のお披露目しようと思い、こちらで開催しました。今回は、公認心理師でもありますカウンセラーの今村先生による「子どものタイプと接し方」という講話と、愛着と心の栄養（ストローク）のお話でした。今村先生のお子さんの話で、今村先生がご自身のお子さまのお話を涙ながらにされたのを見て、保護者の中にもご自分の状況と重ね合わせてもらい涙する方がいらっしゃいました。私も涙が出るくらい感動しました。

講義が終わると、1階のキッチンにてリリーベルの子どもたちが作った作品の展示を見ました。その場で購入することもできたので、お買い求めいただいた方もいました。感謝いたします。



今後も素敵な親の会を開催できるよう機会を設けたいと思います。今村先生、素敵なお話ありがとうございました。ご参加いただいた保護者の皆さまもありがとうございました。

（中村 鳴美）

ひきこもり等地域理解促進事業

（講演）報告

11月23日（木）、神奈川県立青少年センターと協働によるひきこもり等地域理解促進事業として、今年はNPO法人文化学習協同ネットワークの雨宮健一郎氏を講師に「ひきこもりからの回復～人との関りの大切さを考える～」と題して、講演を行いました。



前年度の講演と違い、今回は三部形式で、まず、雨宮氏よりひきこもりに関する現状のこと、周囲の支援の在り方などについてプロジェクターを使って、実際の活動風景も流しながら話が行われました。続いて、第二部では保護者視点から実際に施設を利用している保護者の方の経験談、そして第三部では交流会という形式で二つのグループに分かれて話し合うという内容構成でした。施設を利用している方々も参加し、交流会では当事者目線からのひきこもりに関する捉え方と、学校や教育との関わり方について討議が行われ、参加者の方にとって有意義な時間となりました。このひきこもり地域理解促進事業の講

演に当フリースクールが関わって、7～8年になります。この間、ひきこもり・不登校等を主テーマとして、地域住民への理解促進を行ってきました。コツコツと継続することが大切であるのだと日々感じています。

（桑原 和也）

お楽しみ会よみうりランド

11月16日、お楽しみ会でよみうりランドへ行きました。これは中学3年生の卒園遠足を兼ねています。鈴蘭学園には卒園という制度はなく、中学卒業後も通うことができますが、高校進学を機に退会する生徒が多いので、それを形式的に卒園と呼んでいます。

今の中学3年生はもう何度もよみうりランドへ来ていますが、今年は新しい子どもたちが多く、例年とはメンバーが大きく変わりました。中にはよみうりランドが初めてだという子どももあり、新鮮な気持ちで楽しんでいました。子どもたちは毎日鈴蘭学園に来ていたわけではなく、曜日ごとにメンバーが異なります。そのため、お楽しみ会は普段は顔を合わせない子どもたちが集まり新しいつながりを作る場にもなります。

みんな絶叫マシンに乗るかどうか悩んでおり、「あれは乗れる、これは無理！」などと、あれこれ思案しながら楽しそうに話していました。

毎回、このお楽しみ会の数日後に、家族でもう一度よみうりランドへ行くという子どもが出てきます。今年もいました。それだけ素敵な体験になったということですね！

（菅原 雅史）

リリーベル活動報告

・アスレチック

リリーベルでは10月13日にフィールドアスレチック横浜つくし野コースで遊んできました。当日は秋晴れで過ごしやすかったです。一日になりました。フィールドアスレチックつくし野コースでは50以上のアスレチックコースがあり、自然豊かで起伏がある場所でした。



今回は、午前中丸太とロープで作られたアスレチックを中心に遊び、午後は池のアスレチックの周辺を散策してきました。子どもたちは、難しそうなアスレチックに対して最初から諦めるのではなく、挑戦してみようとする姿勢を見せていて、楽しく体を動かしていました。

池のアスレチックでは、水に濡れる可能性もあったので、今回は散策中心になりました。池の水はちょっと濁っていましたが、涼しさは感じることができました。普段遊べない環境で過ごせるいい機会になりました。(貞清 裕介)

・ कोरोレさんとの交流活動

リリーベルは、9月から毎月1回のペースで कोरोレさんとの「交流活動会」を行ってきました。9月は、リリーベルと कोरोレさんのメンバーをシャッフルして懐かしいのゲーム機「Wii」を使ったボウリング大会を行いました。始めの方は、ぎこち

ない感じでしたが、ボウリング大会を進めるにつれて「ストライク」や「スペア」が出て歓声や拍手が自然と出てきて盛り上がりました。お互いの利用者から「楽しかった!」との声もあり、貴重なコミュニケーションをとれる機会になったと思います。

10月は、 कोरोレさんの「ハロウィン工作」に参加させていただきました。 कोरोレさんでは、10月31日に近くの商店街でハロウィンカードを配る事になっていました。リリーベルは、そのカード作りのお手伝いに参加し、 कोरोレメンバーと交流しながら一緒に素敵なカードを作る事が出来ました。

11月は、リリーベル主催の「ビンゴ・ウォーキングラリー」を कोरोレさんと一緒に行いました。こちらもありリリーベルと कोरोレさんのメンバーをシャッフルして分かれ、紙に描かれた絵を街中で見つけて、ビンゴを完成させていくゲームを行いました。いろんな手段を用いて探す様子が見られ、皆さんの本気度がみられる活動になりました。参加者には笑顔が見られ、また機会があれば皆で楽しめたらと思える機会になりました。(貞清 裕介)

・ 10月、11月のクッキング活動

リリーベルでは週に1回クッキング活動を行っています。今回はその中でも特徴的なクッキング活動をピックアップして報告したいと思います。

一つ目が「バター醤油たらこスパゲッティ」です。リリーベルでは初めての「たらこ」を使ったクッキング活動で、子どもたちの食材の買い物で「たらこってコレだよね…」

とたらこを買う段階でいつもと違う一面が見られました。無事に買い物が終わって、レシピを皆で見ながら、バターが香る美味しいたらこスパゲッティを料理することができました。

二つ目が「ラーメンとオジヤ」です。この週のクッキング活動は、サツマイモ堀を兼ねて行ったため野外で実施しました。収穫させて頂いたサツマイモはどれも立派なサイズで、他にも畑のご主人から大根や小松菜、チンゲン菜なども頂きました。ラーメンとオジヤは、野外で食べると温かみを感じて畑作業も兼ねていましたので、一層美味しく食べることが出来ました。

三つ目が「サツマイモと牛肉の炒煮」で



す。この週では、クッキング活動の場所をリリーベルから、リフォームしてシステムキッチンが使えるようになった鈴蘭学園の1階に場所を移しました。初めて鈴蘭学園のキッチンを使いましたが、特に問題を感じる様子も見せず、普段通りクッキング活動に臨んでいました。サツマイモ堀で頂いたサツマイモを使った調理ができて、美味しく食べることが出来ました。(貞清 裕介)

中村のちょっと感動した話

お楽しみ会のよみうりランドにて、乗り物に乗らないと言っていた子が、2つ3つなんとか乗って、帰りに、「先生、楽しかったよ。来て良かった」と笑顔で話してくれました。今回のお楽しみ会は、朝から電車が止まってしまったり遅れたり、経路を変更したりとハプニング続きで、子どもたちはよみうりランドに着くまでに疲れてしまっているのではないかと思います。帰りの電車の中では、疲れてはいるものの、心地よい感じの疲れに見えました。帰ってからたくさんお家の方にお話したいと思います。みんな、お疲れ様でした。楽しく過ごせて良かったね…。



お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL: 042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。